

まちの出来事



人権思想を広める 加藤洋子さん人権擁護委員に再任

市の人権擁護委員に再任された加藤洋子さんへの委嘱状交付が10月8日、市役所で行われました。宮川市長が「大変な仕事ですが、よろしくお願ひします」と述べ、法務大臣からの委嘱状を手渡ししました。加藤さんは「デートDV（高校生や大学生などの恋人間で男性から女性を受ける暴力）問題の啓発活動を中心に、任期をがんばりたいと思います」と抱負を語りました。



人権擁護委員は法務大臣から

オホーツクの食を提供する第16回紋別グルメまつりが10月10日から12日まで「氷紋の駅」駐車場で行われました。開場と同時に近隣の町村をはじめ道内各地から車で駆けつけた方々やツアー企画で来場した観光客で賑わいました。会場の中央に用意されたオホーツクパーベキューコーナーは、紋別産のホタテやカレイ、ホッケ、エビなどを炭火で焼いて食べようと場所を求め、多くの来場者があふれていました。



パーベキューコーナーで旬の味に舌鼓 第16回グルメまつり

ら委嘱された民間人が、地域の中で人権思想を広め、侵害が起きないように見守り人権擁護を進めていく制度で、市内では加藤さんを含め6人が活動をしています。



日頃から防災意識を持つとう 小向連合町内会防災避難訓練

小向連合町内会と小向地区消防団が主催し、住民120人が参加した防災訓練が10月11日開催されました。前日から降り続いた雨により道路の冠水や家屋の床下浸水が発生したという想定のもと避難勧告が出され、住民は避難場所である小向小学校に避難しました。この訓練は、小向地区が過



どを買って求めています。



安心と笑顔・健やかに暮らせる地域づくり 第34回紋別市住民福祉大会

第34回紋別市住民福祉大会が10月18日、「安心と笑顔・健やかに暮らせる地域づくり」を大会テーマに市民会館で開かれました。

地域福祉向上に貢献した各町内会役員を顕彰したほか、玉谷実行委員長と名誉大会長の宮川市長が挨拶。さらに市の福祉保健医療連携アドバイザーを務めている細谷辰之氏が「医療・保健・福祉の連携について」をテーマに講演。出席者たちは、安心して暮らせる街づくりの実現へ、決意を新たにしました。

大会は顕彰式と講演の2本立て。顕彰式では町内会功績者のほか、平成21年度北海道社会福祉大会での受賞者への伝達式もあわせて行われました。このうち、民生委員児童



委員として長年にわたり活躍してきた坂豊實さんは、その功績が特に顕著だとして、北海道知事表彰（社会貢献賞）を受賞。また紋別市社会福祉協議会への寄付に感謝して、社団法人紋別地方法人会と紋別飲料店組合に同協議会会長から顕彰が贈られました。